各位

名古屋大学全学同窓会 会長 豊田 章一郎

名古屋大学全学同窓会大学支援事業(平成30年度第2回)の募集について

平素は、全学同窓会の活動をご支援いただきありがとうございます。

全学同窓会では本学の多彩な活動を支援するため、平成16年度から「名古屋大学全学同 窓会大学支援事業」を開始いたしました。

この事業の募集は、年2回行うこととしており、今回は平成30年度第2回の募集とな ります。

つきましては、別紙応募要領及び「全学同窓会設立の理念」をご覧いただき、該当する 事業がある場合は、申請書原本と電子データ(押印不要・PDF 不可)を 平成31年2月21日 (木)までに、申請代表者が所属する部局事務を通して、下記提出先にお送りいただきます ようお願いいたします。

なお、学生が申請代表者となる場合は本学教職員の推薦書(様式は自由)を添付願います。 推薦者の寄附金として受け入れて頂きますので、推薦者の所属部局を通して提出願います。

また、平成30年度第2回の支援総額は200万円、採択件数は4~6件を予定してお ります。

皆様のご応募をお待ちしております。

<本件連絡先>

o申請に関する問合せ先 代表幹事 和田 壽弘 E-mail twada@lit.nagoya-u.ac.jp

○申請書提出先

Development Office 全学同窓会事務局

岡田、平子

TEL 052-747-6774 FAX 052-747-6383

E-mail nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp

## 名古屋大学全学同窓会大学支援事業応募要領

制 定 平成 17年2月9日 一部修正 平成 17年7月6日 一部修正 平成 18年7月25日 一部修正 平成 26年7月25日 一部修正 平成 26年11月18日

### 1. 目的

この事業は、名古屋大学全学同窓会(以下「全学同窓会」という。)の活動理念に添った名 古屋大学の諸活動を支援することを目的とする。

## 2. 助成対象事業(新規事業優先)

この事業は、交付決定の日から1年以内に開始する次のものとする。

(1) 学生活動支援 支援を必要とする特徴的な活動

(2) 就職支援事業 就職相談活動、キャリア形成と就職に関する講義等

(3) 本部・部局行事等支援 名古屋大学の各部局等が責任者となって開催する、一般

に開放された講演会等の行事や寄附講義等

(4) その他支援 (1)~(3)以外の全学同窓会の活動理念に添った事業

## 3. 応募資格

名古屋大学の教職員及び学生とする。

なお、学生の申請については、名古屋大学の教職員の推薦(推薦書の様式は自由)を必要と する。

## 4. 助成金額

(1)学生活動支援一件当たり50万円以内(2)就職支援一件当たり50万円以内(3)本部・部局行事支援一件当たり50万円以内(4)その他支援一件当たり50万円以内

## 5. 応募方法

所定の様式をホームページよりダウンロードし、必要事項を記入の上、申請代表者が所属する部局の事務を通じ、全学同窓会事務局に申請書原本及び電子データ(押印不要・PDF不可)を提出するものとする。

全学同窓会ホームページ http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/information/application.html

## 6. 募集締切日

毎年 第1回 : 8月下旬頃 第2回 : 2月下旬頃

### 7. 選考方法

全学同窓会選考委員会で、書類選考並びに必要に応じて申請者の説明を聞き決定する。

#### 8. その他

- (1) 各事業終了後、速やかに所定の様式の報告書を電子データにて提出するものとする。報告書には、全学同窓会から支援を得たことを記載すること。
- (2) 応募書類及び報告書の提出先 Development Office 全学同窓会事務局 内線 6774 または 5759、FAX 6383 E-mail: nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp

## 平成 30 年度第 2 回 名古屋大学全学同窓会大学支援事業 申 請 書

申請日:平成 年 月 日

種類別: (1) 学生活動支援 (2) 就職支援 (3) 本部・部局行事支援 (4)その他 (どれかの番号に○をしてください。)

1. 申請者

所属部局・職名(学生にあっては、学部(研究科)及び学科(専攻)・学年)

【フリガナ】 申請代表者名

印

連絡先 電話

FAX

e-mail

- 2. 事業の名称
- 3. 事業の期間または行事等の開催日
- 4. 支援を受けようとする活動の概要
- 5. 全学同窓会の理念との関連

6. 希望助成額及び助成金の使途内訳(使途を明確に記入してください)

## 平成 30 年度第 2 回 名古屋大学全学同窓会大学支援事業 報 告 書

提出日:平成 年 月 日

種類別 : (1) 学生活動支援 (2) 就職支援 (3) 本部・部局行事支援 (4)その他 (どれかの番号に○をしてください。)

1. 申請者

所属部局・職名(学生にあっては、学部(研究科)及び学科(専攻)・学年)

【フリガナ】

申請代表者名

連絡先 電話

FAX

e-mail

- 2. 事業の名称
- 3. 事業の期間または行事等の開催日
- 4. 成果の概要

成果の概要を同窓会会報誌「ニューズレター」に掲載します。全学同窓会から支援を得たことを記載の上、 $600\sim1000$  文字にまとめてください。なお、「ニューズレター」へ掲載する関係上、報告書の文体は「です・ます」調 としてください。

5. 助成金の使途の概要

費目ごと(例:旅費、謝金、消耗品費、印刷製本費等)の実績額を具体的に記載してください。

6. その他

参考資料として事業の様子がわかる画像データ(JPEG 方式)を添付願います。それぞれの写真には、キャプションを付けてください。

※本報告書は、HP、ニューズレターに掲載いたします。 個人情報の取扱いについては、ご了解いただけたものとさせて頂きます。

## 平成30年度第2回

# 名古屋大学全学同窓会大学支援事業募集

名古屋大学全学同窓会では大学の多彩な活動を支援するため、平成 16 年度から「名古屋大学全学同 窓会大学支援事業」を開始しました。平成 30 年度第2回の支援総額は200万円、採択件数は 4~6 件 を予定しております。教職員・学生の皆様、奮ってご応募ください。

## 1. 目的

この事業は、名古屋大学全学同窓会の活動理念\*に添った名古屋大学の諸活動を支援す ることを目的とします。

\*活動理念については、名古屋大学全学同窓会ホームページに掲載の「全学同窓会設立理 念」をご覧ください。

全学同窓会ホームページ

http://www.nual.nagova-u.ac.jp/about/idea.html

## 2. 助成対象事業(新規事業優先)

助成事業は、交付決定の日から1年以内に開始する次のものとし、一件あたり 50万円を上限とします。

(1) 学生活動支援 特徴的な学生活動を支援する事業 (2) 就職支援事業 学生の就職活動を支援する事業

(3) 本部・部局行事支援 名古屋大学の各部局等が責任者となって開催する、

一般に開放された講演会等の行事や寄附講義等

(4) その他支援 上記以外の全学同窓会の活動理念に添った事業

※幅広い活動を支援するため、新規事業を優先とします。経常経費の申請の場合 には優先順位が低くなります。

#### 3. 応募資格 名古屋大学の教職員及び学生

- ※学生の申請については、名古屋大学教職員の推薦(推薦書の様式は自 由)が必要です。
- ※支援金は大学への寄附金として取扱いさせて頂きます。 学生が採択された場合は、原則として、推薦者に寄附金を受入れて 頂くことになります。

|4. **応募方法**| ホームページより所定の様式をダウンロードし、必要事項を記入の 上、申請代表者が所属する部局事務(学生の場合は推薦者の所属部局) を通じて、全学同窓会事務局に申請書原本及び電子データ(押印不要・ PDF 不可)を提出してください。

#### 5. 募集締切日 平成31年2月21日(木)必着

6. 提出先 Development Office 全学同窓会事務局(内線:6774, 5759 FAX:6383) E-mail: nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp

## 7. その他

◆申請内容に関するお問合せ先

全学同窓会代表幹事 和田 壽弘 E-mail: twada@lit.nagoya-u.ac.jp

◆申請方法についてのお問い合わせ先

Development Office 全学同窓会事務局(岡田、平子)

E-mail: nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp

TEL: 052-747-6774

## 名古屋大学全学同窓会設立の理念

大学は大きな変革期を迎え、新しい大学のあり方が模索されている。名古屋大学ではその一環として、名古屋大学学術憲章を平成12年に制定した。その中で、名古屋大学は基幹的総合大学としての責務を持続的に果たすために、活発な情報発信と人事交流が必要であるとしている。大学が社会へ向けて情報発信および研究教育活動への参加や支援を求めるためには、大学構成員の努力だけでなく同窓生などの支援協力が不可欠であり、同窓会組織は重要な役割を果たす。

従来は、部局同窓会が同窓生間の情報交換や親睦などの役割を果たしてきた。しかし、その活動はそれぞれの部局に限定され全学的な広がりを持つことは少なかった。今後、大学の研究教育および同窓生などの社会的な活動を広く情報共有し、大学と同窓生などとのつながりを強める新しい形の同窓会活動が必要とされている。

社会に開かれた大学として名古屋大学が発展していくためには、大学と同窓会の緊密な連携が必要とされており、大学と同窓会は連携して社会に一層の情報公開を行い、社会から種々のニーズを汲み上げる必要がある。また、同窓生にとって、専門分野を越えての情報交流は従来にもまして重要であり、名古屋大学に全学同窓会組織を設立することが必要である。

名古屋大学全学同窓会は、以下の活動を行う。

- 1)全学的な見地にたって、部局同窓会と連携しながら卒業生、学生、教職員の交流の場を提供する。また、名古屋大学全体の種々の活動に関する情報を同窓生などに発信する。
- 2) 中部地域の基幹的総合大学として、名古屋大学が地域社会や産業界と協力しながら進んでいく中で、全学同窓会は部局同窓会などと協力しながらその核となる。すなわち、名古屋大学全体の情報発信や人的交流において、全学同窓会は中心的な役割を果たし、名古屋大学が社会に開かれた大学になるように大学と連携協力する。
- 3) 全学的見地から、学術研究、教育および学生の支援を行い、国内外で指導的役割を果たし得る人材の養成を通じて、人類の福祉と文化の発展ならびに産業に貢献する。名古屋大学の声価を高め優秀な人材を集めるように大学と連携協力する。
- 4) 留学生を含む同窓生などの活動を把握し、大学と連携協力をはかり情報交換と人的交流を促進する拠点を形成する。
- 5) 各部局同窓会の相互の連携協力をはかるとともに、部局を越えた横断的な同窓会活動や組織 造りを支援する。